

イリノテカン(胃)療法

外科: 管理番号 D110

処方医:

適応症: 胃癌

2週間を1コースとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
イリノテカン	●														●

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ コース)

Day1(月 日)

薬剤名	投与量	
グラニセトロン点滴静注用バッグ3mg	1袋	30分
デキサート	9.9mg	
生食500mL	1瓶	90分
イリノテカン150mg/m ²		(炎症)
生食20mL	1管	フラッシュ

[DLF] イリノテカン

白血球減少及び下痢(水様便)

Day2(月 日)~Day3(月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

[適正使用基準]

- PS(Performance Status)が0~2である
- 感染症を合併していない
- 下痢(水様便)がない
- 腸管麻痺・腸閉塞がない
- 間質性肺炎・肺繊維症がない
- 多量の腹水・胸水がない
- 黄疸がない
- 硫酸アタザナビルを投与されていない
- 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

[今回の投与量]

イリノテカン _____ mg/body

[累積投与量]

イリノテカン _____ mg/body

血液一般検査	WBC	4000 ≤ ≤ 12000
	Neut	1600 ≤
	PLT	10万 ≤
	HGB	11.0 ≤
血清生化学検査	AST	≤ 40
	ALT	≤ 35
	TBil	≤ 1.2
	Cr	≤ 1.1
	BUN	≤ 20

- 前治療の内容の確認
 - 1) 抗がん剤(種類、総投与量)
 - 2) 放射線治療(照射部位、照射線量)
 - 3) 前治療からの休薬期間

[白血球減少および下痢の程度による減量の目安](開発時の臨床試験時)

白血球減少の程度	再投与時の用量
Grade 0~1 (3000/μL以上)	同量にて継続
Grade 2 (2900~2000/μL)	回復を確認後、同量にて再開
Grade 3 (1900~1000/μL)	回復を確認後、20~25%減量にて再開
Grade 4 (900/μL以下)	投与中止

下痢	(日本癌治療学会)	ECOG Common Toxicity Criteria	再投与時の用量
Grade 0~1	泥状便2~3日	排便回数の増加: 2~3回/日	同量にて継続
Grade 2	水様便3~4日	排便回数の増加: 4~6回/日 夜間便、中程度の腹痛	回復を確認後、
Grade 3	水様便5日以上	排便回数の増加7~9回/日 便失禁、重症の腹痛	20~25%減量にて再開
Grade 4	出血・脱水・電解質異常を伴う	排便回数の増加: 1日10回以上 肉眼的血便、要輸液	投与中止

[重大な副作用]

イリノカン

- ・骨髄機能抑制
- ・高度な下痢
- ・腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞〔腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔呼吸困難・血圧低下等〕
- ・肝機能障害、黄疸〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕